

私たちがめざすもの それは…  
ゆたかな緑 きれいな水 いきた大地  
NPO法人水環境研究所

# わきみず通信

第3号

■活動リポート

- ・湧水定期調査（7～10月）
- ・巡検「鳥海山麓の湧水めぐり」
- ・第2回総会
- ・湧水百選の活動
- ・全国地下水サミット2005

■コラム ······白鳥 孝治

印旛沼の湧水 連載第2回 「台地の湧水」

■湧水紀行 ···「鳥海山麓の湧水」

■図書紹介コーナー

■活動案内



撮影 堀田和弘

モモイロペリカン

松虫川河口が北印旛沼に開く岸辺に棲みついたらしい。

～水のある風景～（千葉県富津市）

環境省の湧水100選にも匹敵する湧水が千葉県富津市の山あいにある。「瀧の不動損」と呼ばれている。千葉県ではトップクラスの水量を誇る湧水である。この日もペットボトルを持参して多くの人が水汲みに来ていた。（撮影・文 岩井久美子）



## 活動レポート



### 湧水定期調査（7月～10月）の実施および活動状況は以下のと

おりです。北印旛沼の湧水調査も始まりました。皆さんの参加をお待ちしております。

#### ◎西印旛沼

7月29日および30日：堀田、木津、今橋、嶋田

8月27日：堀田、木津、今橋、

8月29日：堀田、今橋、嶋田

10月28日および30日：堀田、今橋、嶋田

7月31日：堀田、今橋、井野、嶋田

8月28日：堀田、木津、今橋、嶋田

9月23日、26日および27日：堀田、今橋、嶋田

10月31日：堀田、嶋田、井野（？）

#### ◎北印旛沼

7月16日および17日：堀田、今橋、他0～2名（不明）

8月15日：堀田、今橋

9月17日：堀田、今橋、嶋田

10月22日：堀田、今橋、嶋田

8月16日：堀田、今橋、嶋田

9月19日：堀田、白鳥、今橋

10月23日：堀田、木津、今橋、嶋田



獅子ヶ鼻湿原の「あがりこ大王」の前で



分科会の成果を発表する白鳥理事長



総会をホテルリッチタイムの喫茶室で10月2日に開催しました。議長は今橋理事がつとめました。平成16年度事業報告、平成16年度収支決算、本年度事業計画、および予算について承認され無事閉会となりました。なお、新島理事が退会され、新しく今井会員が理事に就任されました。皆様ご協力ありがとうございました。すでに10月から新たに新年度事業が始まっています。皆さんの積極的な活動への参加をおまちしております。



湧水百選の下見を11月6日に実施しました。場所は湧水情報が少ない館山を中心とした房総半島。元千葉県農業試験場研究員で館山在住の森岡さんの案内で、白鳥理事長と事務局の2名（中村、岩井）の3名が参加しました。森岡氏から地元の住民の方を紹介していただき、貴重な湧水の数々をみることができました。ご案内していただいた皆様にあらためてお礼申し上げます。

さて、湧水百選の進捗状況ですが、これから具体的に調査が動き出します。既に湯浅理事から候補となるベクリストが整理され、今後は現地調査が計画されています。皆さんぜひご参加ください。

### 湧水紀行－3

巡査のコースは遊佐駅に集合し、ひたすら山腹をのぼって一路**胴腹の滝**へ、そこでしばし湧水と戯れた後、麓にも戻って集落内にある**樹川の湧水**へと向かいました。民家の裏にあるという湧水は神社の懷から流れ出ており相当な流量でした。蚊の大群に襲われ、逃げるようにして次の見学地である**牛渡川**へと向かいました。牛渡川は柿田川と同じように湧水だけの流れで、川の土手のそこかしこから湧水が湧いていました。また、水面に「もや」が漂い幻想的な景観でした。さらに、満開のバイカモも見ることができて大満足でした。その日の宿は、秋田県の象潟市の温泉ホテル、日本海を眺めながらの温泉は最高の贅沢です。次の日は、秋田県側の鳥海山麓の中島台にある**獅子ヶ鼻湿原**へ、奇形ブナ林の中をトレッキングしながら「**でつぼ**」とよばれる湧き水や「**鳥海マリモ**」に出会うことができました。3時間ばかり湿原で過ごした後、巡査も終盤に入り、街中にある「**神泉の水**」や「**滝の浦の湧水**」を見て無事解散しました。参加した皆様、長旅お疲れ様でした。



集合場所の遊佐駅。のんびりとした静かな田舎の駅でした。集合時間は13:00。車組みは予定より1時間早く到着。名物冷やしラーメンを食べました。味は・・・・。

## 1 胴腹の滝



右: pH : 6.6 E C : 3.0mS/m  
左: pH : 6.6 E C : 4.7mS/m

環境省〔日本名水百選〕に指定されています。  
水汲みに多くの人がやって来ていました。  
不思議なことに、右側と左側の湧水は少し味が違いました。どうして？



入り口の看板

## 2 樹川の湧水



## 4 獅子ヶ鼻湿原



### 森のあちこちにある湧水 「でっぽ」

水はとても冷たかったのですが酸性のため、飲めませんでした。残念！

pH : 4.4  
E C : 24.1mS/m  
水温 : 8.1°C



ブナ林の中をひたすら歩くメンバー



鳥海マリモ



スイカが冷やしてありました。

## 3 牛渡川



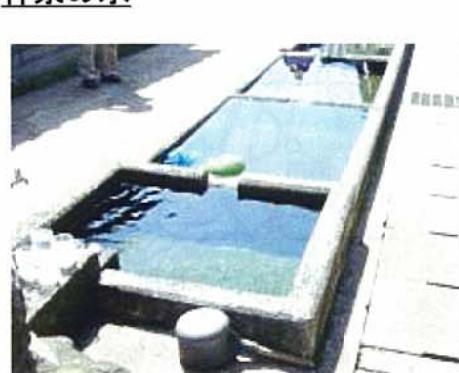
満開のバイカモ



## 5 滝ノ浦湧水



## 6 神泉の水



## 「印旛沼流域の湧水」

その2 台地の湧水 白鳥孝治

八街昔ばなし(1999八街市発行)に、こんな話が載っています。「家康は、御成街道を上砂の馬渡の坂まで来ると、籠から馬に乗り換えて坂を登り、滝台の美しい池に行き、鷹狩でもつれた髪の髪を洗い清めた」という、髪盥(ビンダライ)池の話です。普通なら坂を降りて水場に行くところを、この話では登っています。つまり、高い台地上に水場があるという、あまり聞いたことのない不思議な話です。

明治初期に作られた上砂あたりの迅速測量図をみると、台地上のあちこちに池が描き込まれています。四街道市に近い千葉市長沼にも大小の沼があります。台地上で水が湧き、池になっている話は本当のようです。

上砂あたりの台地は、幕府直轄の佐倉七牧の一つ、小間子馬牧でした。江戸時代には、印旛沼流域と東京湾・九十九里との分水界に当たる下総台地上に、佐倉七牧、小金五牧がありました。さらに遡って平安時代には、「下総に高津馬牧、大結馬牧、木嶋馬牧、長洲馬牧、浮島牛牧の五牧あり」といわれています。下総台地には、昔から立派な牧場が広がっていました。台地上の池は、馬の貴重な水飲み場であり、広々とした原野と水場の組み合わせは、牧場にとって最適のところであつたのでしょうか。

台地上の湧水は、牧場の飲み水ばかりでなく、尾根を通る街道筋でも、旅人の貴重な飲み水でした。佐倉市井野にある加賀清水は、佐倉城主加賀守が参勤交代のときに愛でて飲んだ清水として有名です。歩き続けて冷たい清水に出会ったとき、ほっと一息ついて渴いた喉を潤す快感は、よく分かります。

加賀清水は、現在、住宅団地の中にあり、湧水量が減ってきています。佐倉市や千葉県では、住民と一緒にになって雨水浸透マスを設置し、湧水を保全しようと活動中です。

高台にある湧水は、そこにあるだけで貴重な水です。佐倉の町は台地の上にあるので、昔は、低いところにある井戸で水を汲み、担ぎ上げるのに大変だったと聞いています。高台の水は、どこでも容易に使えます。それに、低いところに流れる間に生き物を育み、一度使った水でも自浄作用によつてきれいになり、再び使えます。

下総台地上にある不思議な高台の水は、この地方特有の地質構造にその秘密があります。まず、台地表面の火山灰土壌はたくさん雨水を吸収する性質があり、一時的に蓄えられた雨水は、ゆっくりと地下に滲み込んでいきます。火山灰層のすぐ下には、常総粘土層という水を通してくい層があるので、水はそこに溜まります。火山灰層は数メートルの厚さしかないので、常総粘土層が露出しているところでは、溜まつた水が湧き出して、家康を喜ばせるような池が出来るのです。谷津低地の湧水は、常総粘土層の切れ目からさらに下層に滲み込んだ水が湧き出したものです。私たちが気づかないところで、こんな自然の恩恵を受けていたのでした。



## 図書紹介コーナー

### 【環境関係】

#### 「環境問題とは何か」富山和子著、PHP 新書（2001）

「漁民が海を守るために、森に木を植える」という話で有名な富山和子が、「水と木と土は一つである」という考え方を、環境問題として書き直した本です。湧水に興味のある方に一読を進めます。「水」の捉え方は、彼女が1974年に著わした「水と緑と土」（中公新書）の方が、しっかりととした書き方のように思われる所以、この本もぜひお読みください。（白鳥孝治）

#### 【講座・シンポジウム案内】

##### 1. 環境学習講座「廃家電のリサイクル」

主催 環境ネット 期日 2005年11月26日 10:00~12:00 参加費:300円

場所 千葉市生涯学習センター

連絡先: 043-432-9181 s-fukase@msj.biglobe.ne.jp

##### 2. 県民環境講座第3回「20世紀日本の気象災害」:講師 富沢 勝氏

主催 千葉県 期日 2005年12月17日 13:30~16:30 参加費:無料

場所 手賀沼親水公園

連絡先: 千葉県 TEL:043-246-2180, FAX:043-246-6969 千葉県環境財団 kankyou@ckz.jp

### 活動案内

1. 定期調査: 調査予定は次のとおりです。集合はホテルリッチタイム地下駐車場 9:00(厳守)

11月25日(金)・26日(土)・27日(日)

12月23日(金)・24日(土)・25日(日)

1月27日(金)・28日(土)・29日(日)

2月24日(金)・25日(土)・26日(日)

(参加申し込み・問い合わせ先) ご自分の車で参加される方は直接集合でも可能です。

[dzf0121@nifty.ne.jp](mailto:dzf0121@nifty.ne.jp) (堀田) [mt-imahashi@seapple.ne.jp](mailto:mt-imahashi@seapple.ne.jp) (今橋) 0706-635-9913 (岩井)

\* 調査予定日が変更になることがあります。事前にご確認ください。

2. 湧水サンプリング調査: 印旛沼環境基金の助成事業として、湧水における硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素濃度の状況を調査します。参加希望者は定期調査と同じくお申し込みください。集合はホテルリッチタイム地下駐車場 9:00(厳守)

(日程)

11月 19日(土)・20日(日): 北印旛沼の湧水を採取します。

3. 学習会: 第4回学習会 11月19日(土) 16:00~

「鳥海山麓の湧水」

講師: 山濱会員

会場: ホテルリッチタイム 喫茶室

### 「わきみず通信」第3号

発行 平成17年11月16日

編集・著作 特定非営利活動法人水環境研究所

〒285-0817 佐倉市大崎台1-6-1

URL: <http://www.wakimizu.org/>

お問い合わせ・各活動への参加申し込みは下記まで

e-mail: [office\\_iwe@wakimizu.org](mailto:office_iwe@wakimizu.org)

0706-635-9913[岩井]

\*\*\*\*\*編集後記\*\*\*\*\*

いつのまにか、霜月を迎える日の暮れが早くなり秋が深まってきた。印旛沼周辺の里山の木々もそろそろ色づき始めたようです。

今月始め、遅い夏休みを取って、紅葉を求めて奥会津まで足を伸ばしてみました。紅葉真っ盛りの山々は太陽の光を浴びて黄金色に輝き、十分に癒されて帰ってまいりました。しかし、今月は、事業報告の提出が迫っております。事務局にとって始めての経験となる書類つくりがズシンと肩に重くのしかかっています。また癒しの温泉に行かねば・・・

